

連絡先:自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL:03-5253-8111 内線 42354
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成27年12月 8日

リコール届出番号	3713	リコール開始日	平成27年12月 8日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 大橋 徹二 (問合せ先:品質保証本部 TEL : 03-5561-2686)		
不適合の部位(部品名)	動力伝達装置(オイルシール)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ショベル・ローダの静油圧式無段変速機(以下、「HST」という。)において、油圧ポンプのオイルシールの構造が不適切なため、始動直後ポンプ内圧が高くなり当該シールが変形することがある。そのため、シールが摩耗することでシール性が損なわれ、オイルがフライホイールハウジングに漏れ出し、そのままの状態で使用を続けると、漏れ出したオイルがフライホイールハウジング内でオイルの温度が高くなり、最悪の場合、フライホイールダンパが溶損し、走行不能となるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両製作年月日を確認し、以下のいずれかの改善を行う。 ①対策品のオイルシールが組み込まれた油圧ポンプ一式に交換し、さらにフライホイールハウジングカバーを交換してブリーザとドレンコックを追加するとともに、ドレンコック追加による定期点検事項を取扱い説明書に追加する。また、フライホイールハウジング内にオイル漏れがあった場合は、フライホイールダンパを新品と交換する。 ②フライホイールハウジングカバーを交換してブリーザとドレンコックを追加するとともに、ドレンコック追加による定期点検事項を取扱い説明書に追加する。 ③ドレンコック追加による定期点検事項を取扱い説明書に追加する。		
不具合件数	6件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者:使用者を把握しているので周知のための措置は特にとらない。 ・改善実施済車:ステッカ(No.3713)をキャブ内側の後部窓左下に張り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	KDP-WA115	WA100-6	WA115-80051~WA115-84249 平成22年3月16日~平成26年3月26日	2653	①2653
	WDP-WA124	WA100-7	WA124-85001~WA124-86994 平成25年6月3日~平成27年11月18日	1643	①1114 ② 444 ③ 85
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成22年3月16日~平成27年11月18日	(計4,296台)	